

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月5日

評価対象事業		評価者	文化人権課担当課長 菅原 良		
共創-16	実施事業	男女共同参画推進事業	自治事務	主管課	文化人権課(人権・男女共同参画担当)
	まち・ひと・しごと		法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	人権	施策の方針	人権施策の推進	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	固定的性別役割分担意識を見直し、あらゆる分野に男女が対等に参画することができる男女共同参画を推進するため。
効果	あらゆる分野に男女が対等に参画することができる男女共同参画社会を形成する。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・「かまくら21男女共同参画プラン」を推進する啓発事業を行った。 ・男女共同参画推進条例に沿って男女共同参画行政を推進した。 ・面接・電話による女性相談業務を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		データ区分	01年度(2019年度)当初予算		備考
	人口等の	人口	176,466人	176,308人		人口	176,436人	
	世帯数	81,150世帯	81,763世帯	世帯数	82,444世帯			
	事業の対象者数			事業の対象者数				
運営資源状況	決算値(千円)	3,233	3,050	当初予算(千円)	4,107			
	国県支出金	920	1337	国県支出金	1,020			
	地方債			地方債				
	その他	29	22	その他	70			
	一般財源	2,284	1,691	一般財源	3,017			
	人員配置数	1.0	1	人員配置数	0.9			
事業経費運営	人件費(千円)	7,555	7,959	人件費(千円)	7,033			
	総事業費(千円)	10,788	11,009	総事業費(千円)	11,140			
	市民1人当りの経費(円)	61	62	市民1人当りの経費(円)	63			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	・負担未導入 -3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
		-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	・協働実施済
		協働実施済の場合のパートナー かまくら男女共同参画市民ネットワーク「アンサンブル21」

事業内容の方向性	a: 事業内容を見直す	見直し 種類の	拡大	見直し 内容の	事業へ統合
	b: 事業内容は現状通りとする		縮小		
	c: 事業を休止又は廃止する	その他			
	d: 他事業と統合し、本事業は廃止する				

予算規模の方向性	A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	現在の事業内容、予算規模は適正と考えられることから、現状維持とする。
	B: 予算規模は現状維持とする		
	C: 予算規模を縮小する		

総評 (評価に対する考え方、根拠等)	必要な事業を市民と協働して市民のニーズを捉えながら、効率よく実施している。男女共同参画の考え方は、市民に少しずつでも浸透させていく必要があることから、引き続き、啓発事業を実施していかなければならない。また、その指標として審議会等委員における男女比の均衡に努めていく。
-----------------------	---

平成30年度(2018年度)事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	・市民・事業者に対して、男女共同参画社会の理念をさらに周知すること。 ・男女共同参画市民ネットワーク「アンサンブル21」の運営委員の活動が停滞しているため、運営方法の見直しや新たな人材や若い世代の加入を進める必要がある。	
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	・講座等の開催により、男性も含めた市民に男女共同参画社会実現のための啓発を行った。	解決 一部解決 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	・市民・事業者に対して、男女共同参画社会の理念をさらに周知すること。 ・男女共同参画市民ネットワーク「アンサンブル21」の運営委員の活動を活性化する。	

他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	審議会等の女性委員割合								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	逗子市	三浦市	
他市実績	28.4%	29.7%	27.9%	26.5%	31.8%	26.2%	29.0%	18.7%	

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	昨年比に増加しているが、近隣他市と比較しても高いとは言えない。
----------------------	---------------------------------

事業実施に係る指標

指標の内容	審議会等の女性委員の割合						単位	%	指標の傾向	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
政策・方針決定過程への女性の参画の指標として全国的に取り入れられているため。	目標値	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0			
	実績値	25.3	26.8	24.7	25.2	28.4				
	達成率	84.3%	89.3%	82.3%	84.0%	94.7%				

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	
-----------------------	--